NEWS LETTER Vol. 5.3 Mar. 1998

AGE 北海道

第5回マルチメディアバトル 開催!

事務局 吉田

2月号が盛りだくさんだったもんですから、すっかりこのネタが入らなくなっていました。ちょっと古くてみんな忘れてるかもしれないからかえって新鮮かな。

2月の2日から6日まで、札幌パークホテルにおいて「デジタルウィークSapporo'98」が開催されました。主催は札幌市、エレセンなどで、昨年「サイバースペース~」というタイトルで催されたイベントと同じものです。

ACE北海道支部では昨年に引き続き、2月4日のセミナー枠で「第5回マルチメディアバトル」を開催しました。参加校は初参加3校を含む6校。「バーチャル雪まつり1998」で雪像制作をやっとこさ終え、3日からはデジタル雪まつり新聞の制作が始まる、という状況で準備不足と寝不足でひどい状況で取り組まざるを得ませんでしたが、発表するみんなの生き生きした表情と、北星短大マルチメ部の明るい司会、審査員をつとめてくれた道都短大野口先生、NCF'97運営委員長の中山さん、ビー・ユー・ジーの田崎博士も各作品・発表に暖かいコメントが救いでした。みなさん、事務局の仕切が悪くてほんとにすいませんでした。



今回初の遠隔開催挨拶。楽しそう。

今回は雪まつりの期間にちょうどさしかかったということで、バーチャル雪まつりの活動と、デジタル雪まつり新聞の紹介を特別にNTTの誇るフェニックスを使って行う枠を別に設けました。中でもデジタル雪まつり新聞編集局に加わってくれた道都短大の屋敷くんの奇怪なプレゼンは秀逸でした。

さて、今回初登場してくれた入澤先生(ACE入会ありがとうございます)率いる大成高校チームと尾崎先生の北野台中学校チームはそれぞれインターネットを授業に採り入れたり学校間交流に活用したりという様子を紹介してくれました。ちょっとバトルの雰囲気に慣れてなくて、緊張してしまったかな?

一方すっかり常連のアトリエ・アイリスは前作「めしのこすな」 から声変わりしてパワーアップの「目死野古砂(めしのこすな)」 を発表。水越先生をして「何回見てもよくわからない」という シュールなギャグと先の読めないストーリィ展開で大人たちを圧倒しました。



アイリスの伊藤君はじつは福井野中だったのだ

こちらも常連、福井野中マルチメディア部の発表作品は「探検 美術館」。道立近代美術館で催された「アートなレストラン」とい う、食とアートとの関係を楽しく描いた展覧会をマルチメディア 部風に紹介するものです。これだけで十分館内の案内ができるぐ らい完成度の高いものでした。

北星短大はディレクターで作ったアニメーションを4本紹介してくれました。完成度はもちろん、女子大生らしい内容でまとめられていて何度見ても飽きないものです。

今回グランプリに選ばれたのは桑園学園・札幌ソフトウエア専門学校。こちらも初登場で、若杉 優先生が北海道庁旧庁舎のCG Video「Red Brick Project」を発表してくれました。これは、旧北海道庁「赤レンガ」の外観と内部を CGI で再現するという難題に挑んだもので、学生たちが何度も何度も赤レンガに足を運び、写真撮影の禁止されている内部に関してはこまめにスケッチを取りながら完成させたものです。高額な Workstation ではなく、あくまでも学生個人が購入可能なパーソナルコンピュータで作成したものであることを強調されてました。 なんと、完成データは9ギガバイト近い大きさで、残念ながら生データは残っておらずビデオのみの紹介でした。

いま、日本全国でコンテンツ制作のコンテストが盛んに行われています。このイベントの前夜にも、「デジタルクリエイター・ハッカーズパーティ」という催しがメディアスタジオの稲陰さんやサテライトの磯さんを中心にして非常に盛り上がったときいています。マルチメディアバトルからもきっと、世界にアピールする圧倒的迫力のコンテンツが登場するに違いありません。

次回のマルチメディアバトルにもみなさんふるってご参加ください。

関連 URL

北海道大成高校

http://www.hakodate.or.jp/school/taisei/default.htm

北野台中学校

http://www.nikonet.or.jp/ daichu/

NEWS LETTER ACE 北海道

造形教室アトリエアイリス

http://www.netfarm.or.jp/FarmersClub/under12/index.html

北星学園女子短期大学

http://www.hokusei-jc.ac.jp/

福井野中学校マルチメディア部

http://www.netfarm.or.jp/FarmersClub/kidsfarm/fukuino/fuku_index.html 桑園学園・札幌ソフトウエア専門学校

http://www.sapporo-soft.ac.jp/

「第27回全国高校新聞コンクール表彰式参加記」

札幌星園高校 高瀬敏樹 (takase@netfarm.ne.jp)

本校の「星園高電脳新聞」が、大東文化大学主催、文部省、朝日新聞社後援の上記コンクールで奨励賞を受賞しました。道内の受賞は、本校と苫小牧東高校の2校でした。3月10日、11日の2日間、研修会と表彰式が東京で行われました。交通費を支給してもらえたので、生徒を二人引率して参加してきました。以下簡単に報告します。

1日目は大東文化大学において、朝日新聞の女性カメラマン(?)の新聞講座、分科会、シンポジウムが行われました。講座では、「報道写真入門」と題し朝日新聞写真部記者の廣瀬明代氏の興味深い話を聞くことが出来ました。分科会は少人数(5~8名)すぎて、多くの学校と交流しにくく、進行にも戸惑いが見られました。「高校新聞の現在と可能性」をテーマにしたシンポジウムでは、パネラーに新聞局の生徒が一人加わっていたものの、生徒からの発言が少なく、物足りなさを感じました。生徒主体の企画、運営のもとで実施されてきている北海道の高校新聞研究大会と、全く対照的な印象を受けた一日でした。

2 日目は浜離宮朝日ホールで、講演会、東京本社見学、表彰式が行われました。講演では、「新聞記者の仕事」と題し、朝日新聞社会部記者、市川速水氏の豊富な体験を交えた話がありました。



高校新聞界のアイドル、成田君。

見学、表彰式が予定よりかなり早く終わってしまったため、急遽、 懇談会が開かれました。何となく盛り上がりに欠けた表彰式の終 わりが見えたと思っていたところ、一波乱ありました。過去の新 聞の縮刷版をCD-ROM化した福岡県立修猷館高校の話題から、コ ンピュータの話題になったとき、審査員の一人でもある大東文化 大学の教授が本校の新聞を批判したのです。いわく、「コンピュー タで新聞を作ると、記事が画一化されて面白くなくなる。昔の小説家、太宰とか芥川は面白いが、(ワープロで原稿を書いてる)最近の作家の文章は面白くない。」などと発言したため、会場内は騒然となりました。すると、本校新聞の発行責任者である成田(3年)が、「パソコンは新聞を作るための単なる道具に過ぎなく、パソコンを使ったからと言って、画一化された記事になるとは限らない。」と発言し他校生徒達の拍手を浴びるという一幕があり、一番最後に盛り上がりを見せつつ閉会しました。

今回初めて参加し、北海道の高校新聞局(部)の活動、新聞の水準の高さを再認識させられました。また、生徒が全く自主的に編集、発行している長野高校、本校と同じくDTPによる新聞制作を行っている兵庫県立明石城西高校など、素晴らしい新聞を発行している生徒達との出会いが何よりの収穫でした。

貸出機を活用してね

いま支部事務局には、かつてないほど豊富に貸出機が揃っています。一例をあげると、Performa5220 \times 2 台、Quadra800&840、LC630 \times 2 台、Performa588 \times 3 台など。しかもこれらのほとんどはイーサネット対応しています。



バッタ屋状態。PB180C、Ilsi、SE30など往年の名機が勢揃い。

公立学校には圧倒的にWindowsが導入される中、Macが1台だけあってもなー、という気持ちは分かりますが、そこはそれ、先生の個人IDでたまにはダイアルアップして(モデム付きのものもあります)ホームページを見せてみたり、幸運にしてこねっと校であったりすればハブに繋ぐだけでインターネット接続できるばかりでなく、学校ホームページ制作機としても使えますよね(やっぱりそういった制作作業は Mac の生産性が高い!)

また、ネットワークしていなくても上記程度の機種ならば、DTPソフトを入れてデジタル学校新聞作りに挑戦して高瀬先生を真っ青にさせる、というのも方法です。びゅんびゅん動かす訳にはいかないでしょうが、チープなパソコンでもこんなにできるんだよ、という方が手作りの趣があっていいものができるのです。今春から紋別の道都大に編入する道都短大OA研究部OB・OGのみんなにも、1台貸し出してデジタル紋別新聞を作り続けてもらうことに決まっています。

こっそりプレインストールしてお渡ししますし、ある期間まとめて数台お貸しすることも可能かと思います。とにかく、事務局で眠らせておくだけではこの部屋が Mac バッタ屋と化すだけです。もっと貸出機を活用して下さい!

お問い合わせは、事務局青柳(aoyagi@hokkaido-np.co.jp) 吉田(yoshida@hokkaido-np.co.jp) TEL:011-210-5506までどうぞ。

NEWS LETTER ACE 北海道

KONET-DAY

「こねっと・プラン」成果発表会報告

北星学園女子短期大学 武田 亘明 (mailto:takeda@netfarm.ne.jp)

「未来(あす)を生きる子供たちのために」と副題を得て、さる 1998年3月7日に北海道経済センターなど全国をテレビ電話 (Phoenix)で結び、こねっと・プラン推進協議会主催、文部省、ネットワーク教育利用研究促進協議会共催により、「こねっと・プラン」成果発表会が行われました。

漫画家里中満智子さんの提言のあと、徳島県、福岡県、北海道の3県からの活動報告がなされました。北海道からは、大成高校の入澤先生が「僻地校おけるネットワークの活用と効果」と題して報告されました。

静岡大学の永野和男先生がホットな審議会での議論を紹介した 基調講演会のあと、小学校部会、中学校部会、高等学校部会、特 殊教育諸学校分科会に分かれてテレビ会議で熱い研究協議がガン ガン行われました。さらに「こねっとWebページコンテスト」表 彰式では、優秀賞「旭川東鷹栖中学校(大阪先生)特別賞「札幌 市立中央小学校」がそれぞれ表彰されました。北海道のページの レベルは高いことが証明されました。

各会場別に行われた「こねっと討論会:マルチメディア活用Q&A」では、司会武田(北星短大) アドバイザーに尾崎(札幌北野台中) 荒島晋(札幌発寒中) 大阪徳美(旭川東鷹栖中) 入澤幸博(大成高校) 桝谷稔(NCF)の各先生により、学校における個人情報保護の問題や教育関係ドメイン問題などについて状況報告や話し合いが行われました。

全道から100名の参加という東京、大阪に次ぐ盛況ぶりで、 北海道の情報教育への関心の高さが伝わってきた割には、その後 の懇親会は、参加者は10人でちょっと寂しかったんでないかい?!

本当に学校現場の福音となるかのか!? NTT が学校教育教育向け商品を開発

文部大臣や自治大臣の表明を見ても明らかなように,今後2,3年のうちに学校現場にインターネットが導入される動きが加速している。

そんな中で,NTTが学校向けの商品「OCNスクールパック」を送り出してきた。これら大手の動きが本当に学校にとって福音になるのか?それともインター寝っとになってしまうのか,今後ますます学校現場の姿勢が問われることになるだろう。

NTTはOCN回線サービスと、各利用分野ごとにインターネットを利用する上で必要となるシステムやネットワークアプリケーション、サポートサービスといった付加価値機能をセットで提供する「OCNソリューションパッケージ」について検討して参りましたが、このたび、特にご要望の強かったSOHO向け及び小、中、高等学校等向けに、OCN常時接続サービスを利用して複数のコンピュータでのインターネット接続環境を構築するための「OCNSOHOパック1」と、「OCNスクールパック」を、「OCNソリューションパッケージ」シリーズの第1弾として販売を開始します。

学校向けソリューションパッケージ「OCNスクールパック」 1.OCNスクールパックの概要 OCNスクールパックは、小、中、高等学校等がOCNエコノミーをはじめとするOCN常時接続サービスを利用して、複数のコンピュータがLAN経由でインターネット接続したり、情報共有したりする環境を構築するために使用するパッケージで、回線サービスにサーバなどのシステムとサポートサービスを組み合わせたものです。OCNスクールパックを導入した学校はインターネット上のWWW(ホームページ)にアクセスことができるようになることはもちろん、独自ドメインを活かした情報発信や電子メールの送受信もでき、また学校内の情報共有や情報交換のために学校内WWWを構築したり、電子メールやメーリングリストを利用することもできるようになります。

OCNスクールパックの特徴は以下のとおりです。

- (1) フルターンキー: 各種機器の接続、開通試験はもとより、ドメイン名やIPアドレスの設定に加えて電子メールやWWWの初期設定まで含むプレインストール&セットアップサービスにより、学校はOCNスクールパックが開通したその日から電子メールやWWWを運用開始できます。
- (2)イージーオペレーション:OCNスクールパックでは、独自ドメインの運用に必要な「DNSサーバ」をNTTがホスティングするので、運用のためにインターネットに関する専門的な知識は必要ありません。またメールサーバ、WWWサーバ等の設定・変更はブラウザ画面から行うことができ、しかも徹底的に簡略化してありますので、コンピュータネットワークに詳しい教員がいない学校でも楽に運用できます。特に年度末始に電子メールアカウントを大量に追加、更新、削除する操作や、ホームページ閲覧規制の設定を簡単にするなど、学校での使い勝手に工夫をこらしています。
- (3)フルサポート: 専用ヘルプデスクがOCN自体に関する問い合わせから、サーバに搭載しているソフトウェアの使い方に関する質問まで一元的にサポートします。設定ミス等によるオールインワンサーバのトラブルの際は、リモートメンテナンスによる修復まで行います。万一のハードウェア損傷時には、予備機に取り替えの上、パックアップデータによる復旧までサポートします。

今回はシリーズ第1弾として、中核サーバとしてソニーコミュニケーションネットワーク(株)の「IPS-ProforOCNスクールパック」を使用するバージョン「OCNスクールパックbyIPS-Pro」を発売します。

*注3「IPS - Profor O C Nスクールパック」

「IPS - Profor O C N スクールパック」は企業向けのイントラネットサーバとして多くの実績がある「 I P S シリーズ」の最新機種である「IPS - Pro」を学校での利用に合わせて改良した、 O C N スクールパック専用パージョンです。 O C N スクールパックのために N T T が設置している D N S サーバに対応した設定で出荷します。

2.「OCNスクールパック byIPS - Pro」のパッケージ構成 OCNスクールパックは、回線サービス、ハードウェア・ソフトウェア、サポートサービス、情報提供サービスの4つを組み合わせたものです。「OCNスクールパック byIPS - Pro」には以下の内容が含まれます。

- (1)回線サービス
- ・OCNエコノミー・独自ドメインの運用サービス
- (2)ハードウェア・ソフトウェア
- ・オールインワンサーバ (byIPS Profor O C N スクールパック)
- ・接続機器(TA+DSU内蔵ルータ)・無停電電源装置(UPS)
- ・ケーブル
- ・添付ソフトウェア(WWWオーサリングソフトウェアなど)
- (3)サポートサービス(標準料金に含まれます。)
- ・設置工事及びソフトウェアの初期設定サービス
- ・ヘルプデスクサービス

NEWS LETTER ACE 北海道

電話により、お客様からの質問、ご相談に応じます。 設置工事及びソフトウェアの初期設定サービス

・メンテナンスサービス

故障時に、リモートメンテナンスもしくは現地へ技術員を 派遣して対応します。

(4)情報提供サービス

- ・OCNスクールWeb・その他
- 4. OCNスクールパックの提供形態

OCNスクールパックは、NTTとNTT-TE東京が協力して提供します。NTTはOCN回線サービスを、NTT-TE東京はサポートサービスを担当します。ハードウェア・ソフトウェアについては、今回はNTT-TE東京が販売します。また、OCNスクールパックを活用するために役立つ情報を学校に提供する、WWWや電子メールニュースなどのサービスについても予定しています。(5月以降の開始)

5.「OCNスクールパック by IPS - Pro」の料金

OCNスクールパックでは、ハードウェア・ソフトウェアは リースのみの提供となります。今回発売する「OCNスクール パックbyIPS - Pro」の料金は、リース料、OCNの回線料金、サポート料を含んで、標準で月々63,300円です(消費税別)。

自作サーバで情報発信!

「インターネットサーバーづくりらくらくガイド(北海道新聞社刊、2600円+税)」いよいよ発売! ACE 北海道会員(武田、桜庭、高本)が全国の皆様に贈る、待望のこの一冊!「見るだけ」のインターネットじゃつまらない。自分の情報は自前で管理したい人たちのカンタンガイド。Windows95/NT4.0/Mac OS対応。この本のとおりに設定すれば、ルータの設定からDNSサーバWWWサーバ、MAILサーバ、FTPサーバの設定がだれでも簡単にできて、運用管理の心得までわかっちゃう。これでなんとこの値段とは、ずいぶん安いんでないかい!4月7日店頭販売開始だー!

「インターネットホームページづくりらくらくガイド(HOTALL版)」もよろしく!

オラシオンの PippinCD-ROM を!

ACE本部事務局より、オラシオンのCD-ROMが支部に贈られることになりました。北海道支部には3枚きます。

Pippin Music Island シリーズ タイトル名

- a. ビバルディ 四季
- b. プロコフィエフ ピーターと狼
- c. チャイコフスキー くりみわり人形
- d. サン = サーンス 動物の謝肉祭

Pippin 版ですが、製品解説には

この CD-ROM は PowerMacintosh でも動作します。

(16bit 44MHz のサウンド出力が可能なマシンを推奨)

メモリ 16MB 以上 4 倍速以上の CD-ROM ドライブ 漢字 Talk7.5 以降

ご希望の方に差し上げたいと思います。詳細は4月研究会席上で発表します。当日はPippin atmarkによるCD-ROMのデモも行います。

編集後記

春ですね。今頃東京は桜の季節です。日曜日の昼間、桜を愛でながら蕎麦屋で一杯、というのはとても幸せな構図ですが、くれぐれも飲みすぎには注意しましょう。ACE田中さんの原稿は次回使わせていただきます。 (吉田)

3月のこねっとプラン発表会で、100名近い全道の「非ACE」の 先生方に、ACEのパンフ、ニュースレター、入会案内を配りまく りました。おかげでその後新規入会が相次ぎ、今日の時点で支部 会員が96名になりました!3年越しの悲願「100名支部会員達成」 にあとわずか。記念すべき第100号支部会員には、豪華プレゼン トが!!・・・何が当たるかはお楽しみ。支部設立以来、もう北 海道で情報教育に携わっている人たちにはほとんど会ってしまっ たように感じていましたが、こねっとやHEMLが始まって、まだ まだ会うべき人材がたくさんいることを痛感しています。ハイ テックになるほどにハイタッチが重要になる。次回研究会の教育 関連サイト作りはやっぱり大切だー。 (青柳)

この1年を振り返って。時間の流れが速すぎて落ちついて自分の行動を振り返ることすら出来ない毎日を過ごしています。"考えながら歩くという"信念を大切にし,前を見ながら動いてきました。今までの人生で出会った人々の中で,この1年間で知り合いになれた方たちが,ぼくにとって最高の財産になったという事を実感しております。アクティブにそして不平不満を言わずにみんなのために鼻血もでないくらい頑張る武田先生をはじめ,理路整然とした言動の荒島隊長,そして童心のてっちゃん,やぎさん。そして道都大学チーム。高瀬後輩。半チャン。燻銀のまさし先生。すべてが楽しくてたまらない毎日でした。皆さんの気遣いで2月には幕張にまで行くことができて,ACEの人々とも交流が出来ました。来年度は自分の弱点を克服し更に頑張ろうと思います。皆さんありがとうございました。

幕張に行ったとき、ACE ブースで売っていた G3 を本気で買おうかと思っていましたが、結局買わずに帰ってきました。あれから1か月、とうとう私はどかんとMT266G3ユーザになってしまいました。はかどらなかったドロー系ソフトによる仕事もこれからは問題なくいくことでしょう。ビデオキャプチャ後の編集もすんなりいくでしょう。しかしながら家計は問題だらけになりそうです。ぐすん・・・
(野口)

春休みの初日,久し振りに編集会議に参加できたことを嬉しく思います。今回,大成高校の入澤先生,そして僕の高校時代からの親友の中央小の砂田先生がACEに入会されました。ますますパワーアップしていくACE北海道です。(しかし,札幌の学校には隠れMac派がまだいます。これこれそこの長谷川先生!)さらに,VSFでカメラワークの実力をまざまざと見せた高橋先生が僕の横の学校にくることになりました。4月には表敬訪問しないとな!北海道の教育はまだまだこれからが本番です。本年度は腰を据えて情報教育に取り組まなければなりません。そして,形あるものを世に知らしめていかなくてはなりません。2年間連携してきたNCFも98では大きく様変りしようとしています。NCFの教育分野でもACEは再び核となっての役割が期待されています。夏には熊本が待っています。阿蘇の麓で「稚内POEM」の再来を!みんな小遣い溜めて夏を向かえよう!待ってろよ!ACE九州!(荒島)

4月から北海道新聞隔週夕刊のデジタリアンコーナーに NCF・ACE 会員による「パソコン塾」が連載されます。入門者向け知っていたらとっても便利情報がのりますよ。知り合いのおじさんに教えてあげてくださいね。今年もガンバロー!風は南風に変わった! (武田)

教育とコンピュータ利用研究会 北海道支部 1998年3月26日発行